

躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL: 042-843-0075

FAX: 042-843-0076



生長の家大神は住吉大神である!! との尊師の教えを護り抜きます!!

《今月拝読の御言葉》

真理の言葉を毎日拝読し、喜びあふれる光明
生活を実践しましょう。

谷口雅春先生

健康と幸福とを得る心の持ち方

若し貴方が現象世界に於いて常に健康であり、幸福であろうと思うならば、心のレンズを曇らせないように常に明るく、喜ばしきことのみを思うように心懸けなければならぬ。人の悪を見ぬこと、見ても善意に解すること、そして宥すこと、取越苦勞や、持越苦勞をせぬこと、現在を感謝すること、すべての人間が善き人であり、自分に好意をもっている人だ、と信ずるようにつとめること、一切の事物のただ光明面のみを見つめて、暗黒面を見ないこと、事物を破壊的に考えないで建設的のみに考えること、どんな事が起つて来ても、それは自分の魂を高める為の最良の機会であるとして感謝すること。これらの精神上の注意を、最低十日間先ず第一期として実行するように努めてみたまえ。あらゆる方面に「明るい出来事」がやって来て健康も著しく恢復するに至るのである。感謝の念は心を最も平和にしてストレスを排除く最良の精神的良薬であるのである。

(新装新版『真理』第10巻 実相篇)

谷口雅春先生の「永遠の弟子」としての私達の決意

昭和六十年五月二十六日の総本山団体参拝練成会において谷口雅春先生は、「袖振り合うも他生の縁。隣同士座ること夫婦となることも前世からの縁であり、わけて、師と弟子となる者の縁について、「たとえば、私が釈迦牟尼如来として生まれて、インドで講演しておったとき、その時に、皆さんもその釈迦牟尼如来の説法を聞いて」と述べられ、さらに「皆さんも皆、無量寿如来の命を頂いてここに生まれ変わってきておられるのである」とおさとしくださいました。

このご講話が信徒への最後のご講話となりましたが、その翌月の六月十三日には、住吉大神様へこの世を去るご挨拶をされたのです。奥様の谷口輝子先生の御文章にかくあります。

私は後で考えたことは、この時のお茶が、お口に入れるものの最後のものだったから、世に言う「死に水」に当るものと思われた。

「十三日の午前三時三十分頃、先生が、「病無し、迷無し、罪なし、これが生長の家の根本真理であります。それでは神様、只今より眠らせて頂きます。それでは神様、只今より眠らせて頂きます」と同じ言葉を二回くり返された」

上野さんの文章はこれで終っていた。夫の肉体の命はこの現象世界を去る時、神様に永眠することを挨拶されたのであった」(「師と仰ぎ夫と仰ぎて」)

そして昭和六十年六月十七日、午前七時五十三分、尊師谷口雅春先生はご昇天になりました。



多摩霊園谷口雅春先生の墓前で聖経『甘露の法雨』を
読誦し感謝を捧げる (令和元年6月22日76名で参拝)

かの日よりはや三十六年の月日が流れました。このわずかの年月の間に、私達を救い導き生長させていだいた、愛する「生長の家」教団は大きく変貌してしまいました。

三代目総裁となった谷口雅宣氏の指導のもと、信仰する神は変えられ、重要な聖典は実質的に絶版にされ、教義は換骨奪胎され、人類光明化、日本国実相顕現の立教の使命は反故にされました。

尊師のみこころをわがこととし、谷口雅春先生の永遠の弟子として生きる私達は、生長の家社会事業団と志を一つにする信徒と共に「生長の家大神は住吉大神である」との教えを護り伝えてまいります。

盂蘭盆には多くの霊牌を供養しましょう

八月十三日から十六日は「盂蘭盆会」です。コロナ禍で迎える今年の盂蘭盆には、「先祖様、お世話になった方々、供養もれないよう多くの霊牌を書いて、感謝の真心を届けましょう。」



「霊牌供養」のはじまり

昭和三十一年、第一回の「盂蘭盆供養大祭」が行われるにあたり、谷口雅春先生は、アメリカの誌友から「やがて自分たちが地上の生命を終えて霊界に昇天する場合に、生涯の宗教として信じてきた生長の家で葬送の儀式を定めて頂きたい」との要請があり、それに応えることにした旨、お書きになられています。

それで、それまで「霊票」なる名称で一部の道場や教化部で行われていた供養の形を、この時より谷口雅春先生が正式に「霊牌」と名前をお決めになられたのです。以来、信徒の皆さんから提出された霊牌は大祭において、一柱一柱招霊され一年間毎日、聖經の読誦で浄められ、翌年の盂蘭盆に浄火で焼納する、生長の家の独特の「霊牌供養」がはじまったのです。この意義について谷口雅春先生は「過去の霊牌より新しき霊牌に移り行きて祀らるゝは、みたまにとりては又一つの生れ更りを経験したまふと同じく浄化向上の機会なり」（『魂のふるさと宇治』）と明示になりました。

霊牌を毎月、毎年お祀りすることは、みたまにとりては生まれ更りにあたる魂向上の喜びであるとおっしゃるのですね。

霊牌は先祖への「感謝のハガキ」

大阪の出口智子さんは大問題にぶち当たり薬をもすがる思いで、生長の家の講師に救いを求めました。その講師から「毎日、霊牌を五十柱書いて持って来な

さい。それを四十五日間続けなさい」と言われ、持参した霊牌で毎日、供養祭をしてくださった。四十五日が近づくとつれ何ともありがたい心になり、とりわけ小学生の時に昇天したお祖父さんの霊牌を一筆「丁寧に書いた。四十五日目のこと、お祖父さんの霊牌を招霊した講師が、あら、霊牌が光ったわ」と言っただけの意味がわからなかった。翌日の朝方、夢か現実か、青い丹前を着たお祖父さんがニコニコしながら歩いて来て「お前がかわいい」と言っただけで抱きしめてくれたと言います。霊牌は確かに先祖さまに通じているのだと実感したとのこと。

例えるならば、霊牌は現世にいる私たちから霊界の先祖への「感謝のハガキ」です。真心こめて書けば必ず届き、子孫の喜びとなって返ってくるのです。

家族で霊牌を書きましょう

先祖にとつて自分の子々孫々から「感謝のハガキ」を受け取り供養されることは、何よりのよろこびでしょう。

盂蘭盆には、おじいさんも、おばあさんも、お父さんも、お母さんも、子どもも、孫達も家族で霊牌を書きましょう。

物故者顕彰慰霊・先祖供養祭の日程

7月18日（日）午前11時から（全国練成道場）※今年の「霊牌浄火のみ祭り」に出される霊牌は7月17日までに着くよう、お送りください。

8月15日（日）午前11時から（全国練成道場）※来年の「霊牌浄火のみ祭り」まで一年間毎日、聖經「甘露の法雨」で丁寧な供養を行います。

（霊牌浄火のみ祭り）8月17日から20日 ※由緒ある島根県の大年神社において

先祖供養のよろこび

父に感謝の供養で大腸癌が治癒

大阪 柳原由起夫（63歳）

今年の一月に入って血尿が続いていたのですが、毎朝、神想観と先祖供養の聖經読誦をしているから大丈夫だと安心していました。ある朝、仕事でキャンセルになり、ふと、近くの泌尿器科で診察を受けたら大腸癌の疑いがあると言われ、直ぐに私が心臓病の治療を受けている警察病院を紹介して下さいました。

検査入院の日、持っていく真理の書を探そうとすると、安東巖先生の「先祖を祀る心」のコピーが足元に落ちてきて、それを持って検査に向かい、ゆっくり拝読できました。

最初にあつた谷口雅春先生の「貧乏をしたり、病気をしたりするのは、根に養分が足らぬからです。感謝が根に養分をやることになるのです。あります。毎日、祖先に『甘露の法雨』を請うて感謝をいたしましょう。』（『美と健康の創造』より）のご文章に、私の聖經読誦は、感謝の気持ちにより、心臓病を治してくださいの思いが強くなっていたと反省しました。

検査の結果、大腸癌が進行し、PSA検査4以下が正常なのに33ありました。医師に「手術は嫌です」と伝えるとホルモン剤とホルモン注射で様子を見ることになりました。それから3月15日には、検査値が8で4分の1になり、5月17日には0.32と、最初の100分の1に減っていました。

それと云うのも、父が3月23日に急遽亡くなり、私は自分の病気を忘れ満中陰の日まで朝晩、聖經『甘露

の法雨』と聖經『顕浄土成仏経』を読誦し、父に心から感謝することができました。その間、父が再婚した義母と二人で話をする機会が増え、義母が父をこんなに愛してくれていたんだとわかり、義母にも心から感謝ができました。

病氣や父の死によって、ただただ感謝の心で先祖供養をさせていたただく大切さを強く実感しております。

母の霊牌供養のおかげで

危機一髪で護られる

田中美子（仮名）（29歳）

生後七ヶ月になる長男の初節句を祝った一週間後のこと。長男を車に乗せ、一車線の高速道路で、中央分離帯のガードレールに激突したので、車は大破し廃車になりました。

一車線の高速道路ですが、私が激突した所だけ追越車線があり、おかげで後ろから追突されることはなく、また、そこにだけガードレールがあつたので、反対車線をつつ切つて、向こう側の谷底に落ちずにすみました。自分では何故、そのような事故を起こしたのか、記憶が全くないのです。交通機動隊の方から「よく、この丁度いい場所にぶつかりましたね」と言われるぐらい不幸中の幸いの事故でした。

車は大破したものの私も息子も怪我ひとつ無く、ご先祖様が護って下さったと感謝で一杯になりました。それは母が毎月、百柱を超える霊牌供養をしてくれていたからです。私も、これからは感謝の気持ちで霊牌を書かせていただきます。

人類の聖典『生命の實相』全巻を拝読しましょう!!

秘話「實相」本尊と「聖旗」は かくして護られた

前号の『生命の實相』に続き本号では、「實相」本尊及び「聖旗」を護り抜いた勝利の裁判について紹介します。

「實相」額（軸）に込められた尊師谷口雅春先生のお心

谷口雅春先生は、私達信徒が神想観や聖經読誦を行う際の礼拝の対象たる本尊として「實相」の書をご揮毫され、次のようにお示しく下さいました。

『「實相」といふ文字を本尊として安置し、各自の内在の實相たる「神性」をその本尊に移入して、宇宙普遍の神霊との合一点として、そこに「内在超越」の神霊を礼拝するための「心の焦点」をつくることにした』（昭和48年3月号『白鳩誌』本尊として祭祀する『實相』の由来）

このような神聖な意義に基づき、全国の信徒が「實相」額（軸）を礼拝してきたのです。



万人の書き手である谷口先生におきかたえの「實相」を「萬教歸一」の象徴「光輪十字架図」

教団の不当な弾圧と実質勝利判決までの経緯

ところが現教団は、総本山顕祭殿の「實相」の額を白布で覆い隠して式典を行うなど、「實相」本尊の神聖性を貶めながら、一方では教団から自立した信徒が「實相」本尊を礼拝することを禁止するために、「實相」の書を「娯楽施設の提供等の商標」として、「光輪十字架図」（聖旗）を「香水類・たこ焼き等の商標」として特許庁に商標登録し、谷口雅春先生を学ぶ会が「實相」額（軸）や「聖旗」を掲げて集会や宗教行事を行うことを、「商標法違反だから止める」と差し止めを要求してきたのです。

この不当な弾圧に屈すると、谷口雅春先生のみ教えを奉ずる信徒も自宅等の誌友会や地域の行事等で自由に「實相」の書を掲げ礼拝することが出来なくなりました。そればかりか、教団が著作権を盾に「生命の實相」を消そうとした前例と同じように、「實相」の書や「聖旗」も商標権を盾に消されてしまう恐れがありました。

かかる事態に、当事業団及び谷口雅春先生を学ぶ会は連帯して取消訴訟を起こしたのです。これに対し知的財産高等裁判所は平成28年8月9日、「商標権の効力は、宗教活動に及ばない」（宗教活動においては自由に使用できる）との判決を下し、実質的な勝訴となりました。これによって私達は、これまで通り「實相」額や「聖旗」を掲げることができるようになったのです。

この裁判を支えるため、特別献資等によりご支援いただいた全国の皆様には、改めて心から感謝申し上げます。

心が折れそうな困難を

全巻読破でのりこえられた

沖繩県 山田 善満（73歳）



高校生の時、「生命の實相」が生長の家の根本的教えである」と誌友会で教えられ、2年間で試験明けの日などは1巻を一晩で読破。「人間神の子無限力」のコトバに勇気づけられ、勉強が苦でもなくなり、受験勉強もある意味楽しく琉球大学に入学。大学では精神科学研究会の部長と生学連の委員長を拝命、1年生ながら先輩を引っ張る立場でリーダーシップが必要となり、必死で『生命の實相』を再読しました。

当時沖縄は米国の施政権下にあり、祖国復帰運動とベトナム反戦運動が重なり左翼の過激派等が対立。学内外に赤旗が林立する中、吾々は大学の正常化と民族の一体化を目指した祖国復帰を訴えて活動しました。生命の危険を感じることもありましたが、全員「吾神に護られている、無限の力がある、大丈夫だ」と信じて活動、誰も怪我をするようなことはありませんでした。

昭和46年に大学を卒業し、琉球政府裁判所へ就職、祖国復帰の準備に奔走。翌47年沖縄の祖国復帰の年に開催される谷口雅春先生の講習会成功に向け、青年会全国大会へ航空機をチャーターし130人で参加。さらに御教えの原点を学ぶべく3度目の全巻読破で新しい世界が見えてきたような気がしました。

その間結婚し子供も授かりましたが、35歳の時急性肺炎を患い49日間の絶食と3カ月の入院。退院後も体調が戻らないまま職場復帰。42歳の時4人の子を残して妻が昇天。苦境が続く中、4度目の全巻読破で「これで悪いものが消えていく」「現象無し・実相独在」を実感。55歳で再婚し、仕事も停年まで勤めることができました。その後行政書士の資格を取り、皆さんの相談相手になっています。

『生命の實相』と私（第4回）

心が折れそうになる困難を何度も乗り越えることができたのは、御教えのお陰、就中『生命の實相』のお陰です。特に頭注版第7巻はその都度読み返し力をもたらしました。現在、県内4会場で勉強会をもち『生命の實相』の教えを弘める恩返し活動をしています。全くの感謝合掌です。

恐怖の人生観から幸せの人生観へ



山梨県 楠 万千恵（67歳）
一枚の母親教室のチラシが『生命の實相』との出会いでした。三歳と一歳の子を連れて母親教室に通い始めた私は、『生命の實相』を知りすぐに全巻を揃えました。

読み始めてみると、それまでの私は幸せの後には不幸が来るという恐怖の人生観の中にいたことに気づきました。『生命の實相』は、「神の子である私たちは幸せであることが当たり前」と教えてくれたのです。私の人生観は大きく変わりました。やっと暖かい太陽の下に出られたような気がしました。一方、『生命の實相』で病気はないと分かっていたはずの私でしたが、小学生の長女が喘息に苦しむ姿を目の当たりにすると心配事はなくならず、「生命の実相」はすぐそこにあるのに、なかなか自分のものになつた気はしませんでした。ある時、また第1巻からと思い『生命の實相』を手にとると、そこに見慣れた言葉を見つけました。「生命の実相の自性円満を自覚すれば大生命の癒力が働いてメタフィジカル・ヒーリング（神癒）となります」。第1巻の冒頭にあるこの言葉を、私は頭で分かうとしていたことに気づきました。一人で読んでいたと独りよがりになったりもします。私は月一回、社会事業団の『生命の實相』輪読会にできるだけ参加させて頂くようにしています。参加している皆様とご一緒に『生命の實相』との出会いを改めて光栄に感じています。

五つの事業を支える奉讀者530名御芳名

これまで献資下さった方々の御芳名を謹んで掲載させていただきます。深甚の感謝を捧げさせていただきます。

生長の家のみ教えを正しく護り
伝えるためにあなたの力を!!

1口 33万円の特別献資に
ご協力ください!! (分割可)

<当事業団が行っている五つの創立記念事業>

- ①聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く
- ②谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
- ③「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
- ④「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
- ⑤「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大

— これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から75年前の昭和20年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。

そして、これら施策の遂行をなしとげるため谷口雅春先生は、聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付されたのです。

このことは聖典『生命の實相』、聖經『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。

私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につなぐため、皆様に寄付の協力を仰ぐ次第です。

(同封のご寄付の申込用紙をご参照ください)

神様の祝福に満ちた幸福人生を招く

◎聖使命奉讃会にご入会ください!

▲奉讃会費V月額一口、千円

聖使命奉讃会は、谷口雅春先生の正しいみ教えを護り神様の祝福をうけるために誕生しました。入会される方が幸福になれるのは、神様の人類光明化運動に献資することにより神様と直接太いパイプでつながるからです。

尚、入会された方の「誠魂」は谷口雅春先生報恩全国練成道場の宝篋に奉安され、聖經読誦により毎日祝福されます。ご入会いただける方は当法人までご連絡ください。

◎神癒・聖經供養にお申し込みを!

問題解決、喜びの体験続々!

アパートの借り手がすぐに現れました!!

私は岩手県でアパートの賃貸をしています。4室の内3室が転勤等で空室になるため、借り手がみつかるよう祈願を申し込んだところ、難しい時期にもかかわらず3室ともすぐに入居希望者が現れました。震災復興事業関係者の引き上げとコロナ禍により、周りには空室物件が目立つようになりましたが、アパートを聖使命奉讃会に入れておいたことも良い結果につながったものと思います。

また、入居者や不動産屋のご先祖様の霊牌供養を始めたところ、ご栄転して行かれたり、以前のような不動産屋とのトラブルも無くなりました。(60代・女性)



お一人お一人の神癒の成就を願い、丁寧に真心の聖經供養をさせていただいています。

金剛不壊身健康成就・コロナウイルス終息消滅のための
聖經百巻読誦表奉納者「よろこびの声」

私は病院薬剤師として常勤していますが、聖經のおかげで毎日大安心のもと勤務を続けております。感謝です。(70代・女性)

7月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(木)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半~	道場
7(水)	萬教包容の神示祭	11時~	社殿
18(日)	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11時~	道場
22(木)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時~ 13時半~	社殿 図書館

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同屋上の臨宮住吉本宮社殿です。

8月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(日)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半~	道場
5(木)	本當の信仰に就いての神示祭	11時~	社殿
12(木)	懺悔の神示祭	11時~	社殿
15(日)	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11時~	道場
22(日)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11時~ 13時半~	社殿 図書館

◆「神癒・聖經供養」毎朝9時~10時30分
谷口雅春先生報恩全国練成道場において行っています。自由にご参加ください。

◆「全国練成道場講師陣」による個人指導
お悩みや心配事がある方は、気軽にお申し込みください。(遠方や急ぐ方は電話でも)

◆図書資料館定期一般開館日のお知らせ
7月8日・15日、8月5日・19日
午前11時~午後3時(原則第1・3木曜日)

◆『生命の實相』輪読会(毎月22日図書資料館)
7月・8月は新編第13巻(頭注版第7巻)の生活篇です。

生長の家社会事業団は、谷口雅春先生の正しいみ教えを伝えるあらゆる団体、人々を支援しています。

『生命の實相』によって自分の「生命の實相」が、神そのままの分けいのちにて完全なることを知り、信仰的にそれを信ずるとも、神想観を修しなれば、その実相の完全さが実現しないことがある。(『生命の實相』頭注版第38巻 幸福篇)